

# CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

総合病院福島生協病院

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内訳							
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>										
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 外皮に断熱材を使用	3.0	0.10	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	3 外皮性能				
	3.0	0.18								
	4.0	0.72	LR1 エネルギー	1 建物の熱負荷抑制						
小計		3.7	0.21							
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし	3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用					
	3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.2 自然エネルギーの変換利用					
小計		3.0	0.10							
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ LED照明の採用	5.0	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化						
小計		5.0	0.15							
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 中央監視設備により、受変電設備の各電灯盤・動力盤毎に計測できる設備を設けている。	4.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング					
	3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制					
小計		3.5	0.10							
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ OAフロア	3.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水					
	3.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無				
	3.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雜排水再利用システム導入の有無				
	2.0	0.06	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減					
	3.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用					
	3.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用					
	5.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材におけるリサイクル材の使用					
	2.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材					
	4.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					
小計		3.4	0.30							
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 設備の高効率化	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮						
小計		5.0	0.13							
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>										
3.9		0.72								
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>										
<b>2.1 温熱環境の向上</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 緑地を設けることで良好な景観を形成している。	1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出						
	2.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上					
	2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善					
小計		1.5	0.96							
<b>2.2 交通負荷抑制</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 適切な量の駐車場、駐輪場を設置	4.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制				
小計		4.0	0.04							
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>										
1.6		0.18								
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>										
<b>3.1 耐用性の向上</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 耐用年数の長い配管材を使用	3.0	0.47	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	1 耐震性				
	3.0	0.12	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	2 免震・制振性能				
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 車体材料の耐用年数				
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
	3.0	0.03	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔				
	5.0	0.06	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔				
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔				
小計		3.1	0.70							
<b>3.2 設備の更新性</b>										
(コメント) ※設計の計画上特段に記載した事項を記載してください。 特になし	3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性				
	3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給水配管の更新性				
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性				
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性				
	3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性				
	3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペース				
小計		3.0	0.30							
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>										
3.1		0.10								
<b>■重点項目の総平均(上記3項目)</b>										
3.4										